

狙って飛ばせる! 「アッタス RX ピュアブルー」

テーパー通りのピュアなしなりが気持ちいい!!

USTマミヤの最新作「アッタス RX ピュアブルー」が9月の発売に先駆けて女子ツアーで大きな結果を出した。9年振りの2勝目を飾った永井花奈はじめテストした女子プロの証言から「ピュアブルー」がどんなシャフトなのか明らかになった。

アッタス RX ピュアブルーの最新TECH

手元のテーパー「TAMO (タモ) Tec」がパワーの源

一般的なシャフトのグリップ部は平行形状だが、テーパーをつけることによって両手にフィットし、パワーをクラブヘスムーズに伝えられるようになる。



稲見萌寧

「少し食いつく感じがあるのも好きなところ。自分のスイングが安定していて調子が良かったら変えていたと思います」



こんな人に推したい!

「クセのない振り心地を替えずに飛距離アップしたい人にオススメです」(USTマミヤツアー担当/清水文弥氏)



高橋しずく

「球が強くなって、曲がり少なくなるような印象です」



神谷桃歌

「たわみすぎないところが打ちやすいと思いました。あまりシャフトを替えたことはないのですが『アッタス RX ピュアブルー』は試してみようかなと思っています」



永井花奈

「『LIN-Q』シリーズや『アッタス RX ウルトラブラック』と比べてやわらかさとか動きを感じます。だから、自分のスイングを変えなくても飛距離を出すことができます」

スイングを変えずに
飛距離アップできる

7月に開催された「ミネベアミツミレディス北海道新聞カップ」でシャフトを替えたばかりの永井花奈はティショットの高いFWキープ率を生かし、4日間通算19アンダーの大会記録で圧勝した。大会前、永井

は「アッタス RX ピュアブルー」について次のように分析していた。
「振りはいま使用している元調子の『アッタス RX ウルトラブラック』よりも、『アッタス RX ピュアブルー』のほうがしなやかに先端が早く戻って来てくれます。自分のスイングを変えなくてもボール初速がちょっと上がったので結果を出してくれるシャフトだと思います」

稲見萌寧も永井と同じく飛距離アップできるシャフトと明言。
「『シ・アッタス』と比べて『アッタス RX ピュアブルー』はちょっと動く感じがして数ヤード飛びます。動きはあるけれど嫌な方には動かないので好印象でした」

また、神谷桃歌はコントロール性能を高く評価していた。
「コントロールしやすいシャフトという印象です。球がネジれる感じがなくて打ち出しで左右に出たとしてもそこからさらに曲がるということがないのでショットの狙いが定めやすいです」

飛距離アップと方向安定性を両立できた要因の一つとしてUSTマミヤのツアー担当/清水文弥氏が明かしてくれたのは新設計の手元形状だ。

「アッタス RX ピュアブルー」のグリップ部には少しテーパーをつけています。そのためスイングの支点が安定し、右手で押し込めるようになっていきます」

すなわち「アッタス RX ピュアブルー」は切り返し安定し、自然にスイングスピードが上がるシャフトといえそう。